

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	94	—	事業名	農村集落家庭排水施設事業	担当部課	建設部下水道課
------	----	---	-----	--------------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リノモでにぎわい交流するまち	会計	6	農村集落家庭排水施設特別会計
		分野別項目	5	下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつくる	款	1	総務費
		施策の進め方	—		項	1	総務管理費
	まちづくり行程表	フラッグ	—		目	1	一般管理費
		政策分類	—		大事業	3	農村集落家庭排水施設事業
	その他(関係法令、要綱等)		—				
事業開始の背景、経緯等		近年の農業及び農村の取り巻く状況は、混住化の進展、生活様式の高度化等の変化により、農業用排水の水質悪化等の問題が生じている。これらを背景に、昭和50年度から、農業集落排水事業に着手した。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持並びに農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、し尿や生活雑排水などの汚水や汚泥を処理する施設の維持管理を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 熊張地区(大草、北熊)、北浦・小深地区(北浦、小深、福井)、前熊地区(前熊)、岩作東地区(岩作東)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 農業集落排水を整備することにより、農村生活環境の改善を図り、公共用水域の水質の保全を目的とする。					
	事業を構成する事務事業	① 農村集落家庭排水施設事業	現状維持	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		2,664	4,117	4,883
決算					2,442	3,566	3,256	
人件費(B)	千円	決算		5,938	6,282	6,041		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		8,380	9,848	9,297		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 水洗化率	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	90.1	90.3	90.4	90.6	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 公共用水域の水質保全のため、水洗化率を指標とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成30年4月より地方公営企業法適用。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 農村集落家庭排水施設事業の水洗化率は、年々上昇している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 農村集落家庭排水施設事業の処理場等について老朽化が進んでいるため、長期的視野に基づいた更新が必要である。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 農村集落家庭排水施設事業の処理場等について、長期的視野に基づいた更新計画である「農村集落家庭排水施設最適整備構想」を平成31年度までに策定する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 「農村集落家庭排水施設最適整備構想」に基づき計画的な更新を行う。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		農村集落家庭排水施設事業									
番号	①	事務事業名	農村集落家庭排水施設事業	款	1	項	1	目	1	大事業	3	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和50年度		終了（予定）年度		-						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 農業集落排水計画区域のし尿や生活雑排水などの汚水や汚泥を処理する施設の維持管理を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 農村生活環境の改善を図り、公共用水域の水質の保全を目的とする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		2,664	4,117	4,883	-
		決算		2,442	3,566	3,256	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
①		下水道使用料徴収事務負担金				1,643	千円
②		下水道使用料調定収納管理業務委託				58	千円
③							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
水洗化率	%	目標	100	100	100	100	100
		実績	90.1	90.3	90.3	90.4	
		目標					
		実績					
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞ 農村集落家庭排水事業3,256千円							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

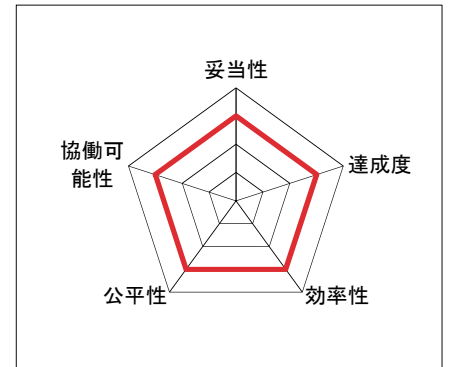
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成30年4月より地方公営企業法適用。

5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞ ※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか) -

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) なし

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) なし

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 今後は、「農村集落家庭排水施設最適整備構想」に基づき、老朽化が進む施設の適切な更新及び維持管理が必要となる。
--